常葉だより

学校法人常葉大学
常葉大学・大学院
常葉大学短期大学部
常葉大学附属常葉中学校・高等学校
常葉大学附属橘中学校・高等学校
常葉大学附属菊川中学校・高等学校
常葉大学教育学部附属橘小学校
幼保連携型認定こども園常葉大学附属とこは幼稚園
幼保連携型認定こども園常葉大学附属たちばな幼稚園
常葉大学リハビリテーション病院

第238号



目　次

2〜3　特集　菊川中高
4〜5　常葉大・常葉大短大部
6　常葉中高
7　橘中高・リハビリ病院
8　菊川中高
9　橘小
よろこび・かなしみ
10　とこは幼稚園・たちばな幼稚園
法人本部
11　入賞・入選
12　とこはインフォメーション



菊川高校 新校舎完成にあたり

常葉大学附属
菊川中・高等学校 校長
中澤俊一

令和2年11月6日、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため会を縮小しましたが、無事に菊川高校新校舎の完成記念式典を執り行うことができました。建築工事に関った方々や式典の準備、ご参列いただいた方々に御礼申し上げます。

新校舎では式典の翌日から備品等が搬入され、19日に生徒全員が各自の荷物を運び入れ、無事に引越を終えることができました。生徒たちの机と椅子、ロッカーが運び入れられると殺風景で無機質だった教室に生気が宿り、未来に飛び立つ生徒たちが学ぶにふさわしい空間に変貌したことがとても印象的でした。1972年、菊川高校の開校と共に48年間歩んできた本館棟や短大のA棟・B棟に別れを告げるのは少し寂しい気はしますが、それ以上に新校舎での生活は快適で生徒たちは以前より落ち着いた穏やかな日を送っているように感じます。

新校舎は全教室にWi-Fiが完備され、これからのICT教育に対応した校舎となっております。旧校舎でのPCとプロジェクターを使った授業だけでなく、タブレットを利用した双方向型授業も可能になり、新しい授業法や学習法にも幅広く活用でき効率の良い深い学びが可能になります。今後、起こり得る感染症や自然災害時の臨時休校におけるオンライン授業に対応できることも新校舎の魅力です。また、現在、菊川市と締結している地域連携活動の新たな拠点として地域との連携を深め、地域貢献活動を通して「菊川市の未来」や「生徒たちの未来」を切り開く魅力ある教育機関として地域のシンボルとなるでしょう。

新生菊川となったいま、部活動では硬式野球部、陸上部、空手道部、バドミントン部などに続き多くの部活動が全国大会出場を目指し、学習面でも生徒一人一人に寄り添う充実した学習体制により進学実績を伸ばし多くの人の記憶に残る記録を築けるよう菊川中高の発展に精進いたします。また、すべての工事を終えるまでには2年ほどの年月を要します。建物一つ一つの完成に合わせ菊川中高も進化できるように教職員一同、一意奮闘しますので、今後とも皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

●題字／名誉理事長 元学園長 故木宮和彦先生

常葉大学附属
菊川中学校・高等学校

新校舎ツアー動画は
こちらから↓

待望の新校舎　令和２年11月24日より運用開始



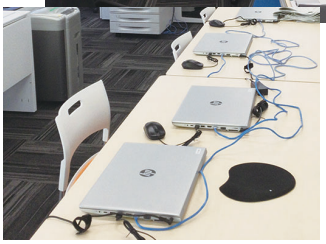
保健室の奥にはカウンセリングルーム。生徒も落ち着いて相談ができます。

令和２年11月19日、20日、21日と、新校舎への引っ越しが行われました。完成したばかりの校舎はとてもきれいで、生徒たちは歓声を上げながら荷物を運び入れました。運動部の有志生徒の協力もあり、次々と片付いていきました。３日間の引っ越しでしたが、ほぼ１日で片付いてしまうほどでした。









職員室、講師室は２階の１つの空間に統合。十分な数のパソコンも整い、教員間の連絡もスムーズに。一層質の高い教育の実現が期待されます。



来客入口。花と全国駅伝出場の掲示で彩られています。



部活動の活躍の記録は、新しいギャラリーへ。



清潔感のあるトイレ。





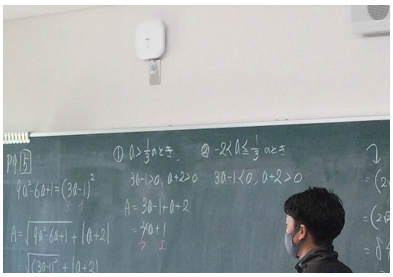
普通教室は原則南側に、音楽室、被服室、物理、化学、生物の各理科室などの特別教室や演習室は校舎北側に配置。移動がスムーズです。



進路室は赤本などの資料、PC、相談コーナーがあり機能的に。



３階の和室。落ち着いた空間で、茶道部の活動等に使われます。



各教室にWi-Fiアンテナを設置。これからのICT利活用に対応。



見通しの良い廊下。シンプルなレイアウトの校舎ならでは。



靴箱も、１ヶ所にまとめ使いやすくなりました。



階段の手すりは手触り、安全面を考慮した木製。

常葉大学　常葉大学短期大学部

静岡草薙キャンパス・静岡瀬名キャンパス
Withコロナ　学友会学生活動

今年度、第3回「心薙祭」が新型コロナウイルス感染症拡大により中止することになりました。学友会ではコロナ禍においても学生活動の伝統の灯を消さないように大学祭に替わるイベント実施について検討を続け、12月に感染防止等安全に最大限配慮し、クラブ活動等学生活動の再開と更なる発展の起点となるイベント『T-ステ～T-challenge』を開催し、無事終了することができました。コロナ禍だからこそ自分達に出来る事を模索し、Zoomやインスタグラムを活用し、多くのイベントを実施しました。

困難な状況下での新しい挑戦は、「当たり前の日常への感謝」、「支え合う喜び」を実感する機会になりました。これからも学友会を中心とした学生の皆さんの「挑戦」に期待しています。

『T-ステ』の様子を「テレしず LIVE STORE」から配信しています。配信スケジュール・視聴方法は、本学ホームページにてご確認ください。



外国語学部
「しずファンプロジェクト」おもてなしツアー企画

モーリシャスのオリンピック・パラリンピック選手たちに静岡の文化や自然の魅力を伝え、未来の絆の礎を築くことを目指し、オリパラのホストタウン静岡市と本学 外国語学部の学生ボランティアが企画した「しずファンプロジェクト」のおもてなしツアー案がほぼ完成しました。今後、現地視察の振り返りを通し、副市長へのプレゼンに向け準備を進めていきます。



造形学部
大絵馬を制作、奉納

年末年始にかけて静岡市葵区の静岡浅間神社に、令和3年の干支「丑（うし）」の大絵馬が設置されました。これは造形学部による地域貢献活動として今年で9年目になります。大絵馬の大きさは高さ3メートル、幅2メートル半です。合津ゼミの活動の一環として、2年生のゼミ生等9名が11月中旬よりデザインを考え制作しました。令和3年は、「辛丑（かのとうし）」です。辛いことに幕を下ろし、希望へ向かう年になると言われています。コロナ禍を克服し、明るい年になるようにという思いを、「忍耐」を表す黒牛、「希望」を表す白牛を中心に、信仰対象の富士山、縁起の良い紅白梅花、「丑」の文字を象った金雲などをデザインし、鮮やかな色調で描きました。マスク着用と「三密」を防ぎながらの制作は、例年と違い苦労と手間がかかりましたが、達成感はひとしおでした。



社会環境学部
松崎町石部棚田の収穫祭

10月3日、4日の2日間にかけて静岡県賀茂郡松崎町石部にて本学社会環境学部の学生が地域連携事業として棚田の稲刈りに参加しました。

松崎町石部のオーナー制棚田で収穫祭が開かれ、地元の石部棚田振興協議会や県内外のオーナー会員と収穫作業に取り組みました。学生は稲を刈って束ね、天日干しにする作業を行いました。



造形学部
サイエンスカフェのすゝめ

造形学部3年生を対象とした村井ゼミでは、とこは未来塾のサポートを受け、11月にサイエンスカフェを2回開催しました。

サイエンスカフェは専門家と市民がコーヒー片手に科学について語り合う場です。90年代にイギリスやフランスではじまり、日本では2005年から行われるようになりました。村井ゼミではサイエンスカフェの実践を通して、ソーシャルデザインやコミュニケーションデザインを学びます。

第1回は無印良品のコオロギせんべいの開発にたずさわった渡辺崇人さん（徳島大学 助教）から昆虫食について、第2回は雑草仕掛け人の斉藤真苗さん（尾道自由大学 教授）から雑草の生きざまについて、それぞれ話題提供をしていただきました。



短期大学部　音楽科
航空自衛隊とのジョイントコンサート

10月29日に、航空自衛隊中部航空音楽隊と短期大学部音楽科ウインド・オーケストラの初のジョイントコンサートを静岡音楽館AOIで開催致しました。新型コロナ感染症対策を万全にし、会場は客席の半数利用で行いましたが、盛況の公演となりました。学生たちは、音楽隊の方との演奏を通して、持ち前の素直な感性を活かし多くのことを肌で学び取り、本番は持てる力以上のものを惜しみなく出し切った演奏会となりました。貴重な機会を頂けたことに感謝致します。



法学部
岳南電車のオリジナルPVを作成

法学部法律学科3年の野木涼介さんは、今年度、富士市の若者を中心に構成された団体「富士山わかもの会議」（通称ふじわか）の代表を務めています。8月には活動の一環として岳南電車のPV（プロモーションビデオ）を制作しました。完成した映像は9月のお披露目会で公開され、また公式ふじわかYouTubeにもアップロードされています。

ふじわかの活動ビジョンは「富士市を若者が【自分なりのいただき】を目指して、輝けるマチにする」ことです。今回の岳南電車PVの制作も、野木さんを中心に企画からキャスティング、撮影まで、企業や大学の手を借りずに全て若者自らの力で進めました。野木さんは「富士市を若者が輝けるマチにするために、今後も若者オリジナルのまちづくりスタイルを富士市から広めていきたい」と語っています。



法学部
静岡県防犯協会標語コンクール最優秀賞

静岡県防犯協会連合会が主催する、全国地域安全運動・全国暴力追放運動用向け標語コンクールで、法学部法律学科3年の佐藤稜真さんが応募総数2963件の中から見事最優秀賞に輝き、11月19日に静岡中央警察署にて表彰式が行われました。

署長から表彰状を渡された佐藤さんは「サークル活動の一環として、街をランニングしながら防犯活動、見守り活動、声掛け活動などを行うランニングパトロール（通称：ランパト）を始めたが、この活動をもっと多くの人に知ってもらいたいという思いがあった。今後は県内の多くの地域でランパトが普及していくことを期待してます」と受賞した喜びを語りました。

【受賞作品】
ランパトが　守るよ君の　安全を



経営学部・健康プロデュース学部
サイバー防犯ボランティア活動が始動

10月27日、浜松キャンパスでサイバー防犯ボランティア委嘱式が開催され、静岡県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課から、吉田課長、山口管理官、小林課長補佐、北村巡査部長の4名が来校され、経営学科1名、心身マネジメント学科9名の学生が吉田課長から委嘱状を受け取りました。



健康プロデュース学部
「ブラインドサッカー体験」を実施

11月2日、浜松市立雄踏小学校で、オリパラ教育の授業として、健康プロデュース学部心身マネジメント学科の神力助教とゼミ生2名が4年生を対象にブラインドサッカーの体験授業を行いました。



健康プロデュース学部
浜松市と大学との連携事業 特製すごろくを使って特殊詐欺を説明

10月15日に和地協働センターで、健康プロデュース学部心身マネジメント学科木村ゼミの学生4名が、昨今、静岡県でも急増している特殊詐欺を防止するために、65歳以上の男女15名に対し、独自作成したすごろくで特殊詐欺を学ぶ講座を開催しました。

参加者は、予め配布された問題用紙と解答用紙を手に、駒が止まったマス番号の問題を解いていきました。すごろく終了後、学生による答え合わせと解説があり、なかでも、75歳以上の高齢者が、金融機関で300万円以上の出金をする場合に、現金の代わりとして預金（貯金）小切手による手続きをすすめる制度「預手プラン」は、意外に知られておらず、未然防止策として有効だと説明しました。



常葉大学附属常葉中学校・高等学校

常葉中学・高校 みんなで全力！体育祭

10月27日、草薙総合運動場体育館「このはなアリーナ」にて中学・高校合同の体育祭が行われました。例年とは異なる状況でしたが、拍手での応援や消毒など全員が感染対策を考え実行しました。制限の中で、最大限の形で盛り上がることができた生徒たちの姿はとてもはつらつとしており、元気を爆発させた一日となりました。



常葉中学・高校 第43回 定期演奏会

12月26日、静岡市民文化会館中ホールにおいて、第43回定期演奏会を開演いたしました。今年度は、夏のコンクールも中止となり、本格的な練習も6月に入ってからとなりました。そんな状況下でも3年生を筆頭に、部長・副部長たちが練習計画を練り、選曲や演出を考え主体的に取り組み、進学のために部を離れてもきちんと後輩たちを導く努力をしてくれました。そして、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、これまでとは違った方式で行う形となりましたが、無事に本番を迎え、心に残る演奏会になりました。



常葉中学 中学合唱発表会

12月10日、本校にて合唱発表会が開催されました。当初はAOーのステージをお借りして実施する予定でしたが、コロナ禍の状況を鑑み、体育館で各クラスの合唱をビデオ撮影し、多目的ホールにて全クラスでその映像をみるという形式に変更しました。マスクを着けたままの合唱は声も出しづらく、苦しくて大変でしたが、どのクラスも日頃の練習の成果を発揮して、美しい歌声を披露することができました。一人一人が鑑賞の感想を書き、後日クラスごとまとめて掲示をしたので、自分達の合唱をどう思って聴いてくれたのかが分かり、嬉しそうに一つ一つの感想を読んでいる姿が見られました。



常葉中学 中学野外活動

10月28日、日本平動物園にて今年初めての行事である、野外活動が行われました。中3～中1までを縦割りの班に分け、動物についてのクイズを解きながら先生方を探して答え合わせをし、ポイント券を引くというゲームに取り組みました。最終的にポイントの多い班が優勝ということで、どの班も効率的に回れるように3年生が中心となって行動しました。1年生にとっては、先輩とうまく話ができるか、緊張と不安で迎えた当日でしたが、上級生が優しく声をかけてくれ、広場でお弁当を食べながら楽しく過ごすことができ、安心していました。そのおかげで、学校生活の中でも先輩たちに自分から挨拶ができるようになりました。



がんばる卒業生

常葉学園橘中学校 昭和51年度卒業
常葉学園橘高等学校 昭和54年度卒業

山田　誠さん

静岡県議会議長
常葉大学附属橘中・高等学校同窓会長

※取材時点のものです



●橘中・高校で学んだこと

中学校時代は「登竜寮」(平成8年3月閉寮)で寮生活を送り、そこでコミュニケーションの基礎を学びました。その経験は社会に出てからも生きています。

運動に関する行事も多く、今思えばバランスの良い生徒を生み出す教育がなされていたのだと思います。名誉理事長の木宮和彦先生がよくおっしゃっていた「全人教育」という言葉が体現されていて、それは現在の橘を見ても感じることができるように思います。

●コロナ禍のいま議長として働くという意味

例年とは違う状況の中ですが、様々なことに対し「どうしたらできるのか」ということを模索していくことが今とても大切なことだと思っています。静岡県としてのBCP(事業継続計画)を作っていく中で、今、世の中に登場してきた新しい技術を取り入れ未来を創っていく。ここが変革のチャンスとなると信じて取り組んでいます。

●夢・目標について

このような世の中になって、より助け合い、思いやりが求められる時代となったように思います。新たなチャンスを創造し、みんなが一緒に暮らしていける社会を作り上げていくことが大切だと思っています。そのために差別や誹謗・中傷は絶対にあってはならない。「自分がやられて嫌なことは人にしてはいけない。」この言葉は橘で学んでいた時によく先生から聞かされていた言葉でした。思いやりの心のある社会を目指していきたいと思っています。

●後輩へのメッセージ

将来なりたい職業はなくてもいいのではないかと思います。ただ大切なことはいろいろなことにチャレンジすること。挑戦することで衝撃的な出来事に出会ったり、きっかけを得たりすることができると思います。可能性は無限大。その可能性を追求してください。またぜひ、政治に関心を持ってほしいと思います。政治で決めたことが生活に反映されるため、政治は必ずみなさんの将来、生活に関わってきます。そのことをぜひ、知ってほしいです。

常葉大学附属橘中学校・高等学校

橘高校 高校体育祭

10月22日、高校体育祭が草薙陸上競技場で開催されました。新型コロナウイルスの影響で、HRデイ、尚志祭、クラスマッチといった行事が中止になった中、今年度初の大きな学校行事でした。2人で板に乗せたボールを運ぶソーシャルディスタンスリレーなど、例年とは若干種目を変え、観戦中はマスクを着ける、自分の席に座って応援をするといった決まりを作って、十分な感染症対策を取って行われました。当初は天候も心配されましたが、途中からは天気も回復し、制約のある中でも全力で競技に臨む姿、チームメイトを応援する姿、久々の行事を心から楽しむ姿が見られました。



橘中学 中学体育祭2020!!

コロナ禍の中、開催すら危ぶまれた体育祭ですが、11月6日、無事行うことができました。

密になるような競技を変更したり、応援合戦をダンス合戦にしたり、試行錯誤の中、準備を進めた体育祭でした。保護者の皆様にも、1，2年生の保護者の皆様には来場をご遠慮いただき、3年生の保護者の皆様にも消毒、検温の上ご参観いただくなど、あたたかいお心遣いをいただいて開催することができました。

3年生の体育委員長の生徒が開会式で「勝ち負けを争う体育祭だけれども、最後には学校全体でいい体育祭だったね、楽しかったねと言える体育祭にしたい」と話していました。まさにそんな体育祭になったのではないかと思います。



橘高校 TPRプロジェクト

昨年度は、希望者を募り課外活動として行ったTPRプロジェクトは今年度、形式を変え高校2年生総合進学コースと一貫コースの約200名の生徒で行いました。

各施設の方に来校して頂き、施設の話を聞くことからスタート。2学期は施設へ見学に出向き、実践に向け企画を練り、3学期企画を実践する活動を行い、PDCAサイクルを創出する活動をしています。





橘高校 SDGsの取り組み

「身近なSDGs」として各クラブにSDGsのテーマから一つ以上のテーマを選択し、選択したテーマについてクラブ活動に現場で行える具体的行動を考えさせ、実践する取り組みを行っています。

クラブ活動という生徒の自主的活動にSDGsを取り入れ生徒達が主体的に社会とのつながりを意識して活動しています。

また、その活動の一部がSBS静岡放送「ORANGE」で放送されました。放送の内容はSBS静岡放送ホームページ内県内動画ニュースで視聴できます。

URL：https://www.at-s.com/sbstv/videonews/index.html?id=LnHmq1eG0



橘中学・高校 中学校 高校 女子サッカー部、ともに全国大会出場！

中学は第25回全日本U−15女子サッカー選手権大会東海地区予選において、東海3位で全国大会へ出場。高校は東海1位で、第29回全日本高等学校女子サッカー選手権大会全国大会に出場決定。コロナ禍で実戦経験が不足しながらも、最も大きな大会に参加し、全国切符を獲得できたことは本当に大きな喜びです。





リハビリ病院 食事の取り組み

病院の食事というのは、患者様の状態にあわせて、塩分やカロリー等の制限をしているため、自分好みの味に調整することができません。そのため、味や量に満足できない患者様も多くいらっしゃると思います。当院では、旬の食材を使用したり、クリスマス等の行事日やリクエストによるメニューを取り入れたり、特別感を出す工夫をして、毎日の食事を楽しんでいただけるよう努めています。



常葉大学附属菊川中学校・高等学校

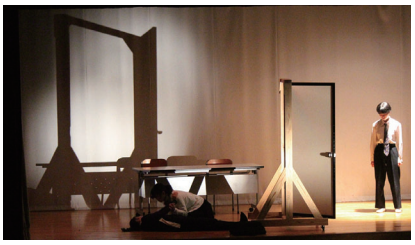
菊川高校 県高校駅伝 女子2年連続7度目V！

11月1日、袋井市・エコパスタジアムにて、全国高校駅伝静岡県予選が行われ、女子チームが、2年連続7度目の優勝を飾り、12月20日に京都市で行われた全国大会に出場しました。県予選では、5区菅谷茉生（まい、3年）が東海大静岡翔洋とのアンカー対決を制し、きらびやかな笑顔でゴールテープを切りました。2位に5秒差のトップでタスキを受け、すぐに追いつかれ並走。しかし「並んだ方が気持ちよく走れる」と、冷静にレースを展開。残り約1キロからスパートをかけて前に出ると、そのまま逃げ切り「笑顔でゴールしようと思っていたが、うれしくて自然に（笑顔に）なれた」と振り返っていました。



菊川中学・高校 演劇部校内公演

10月28日、29日に、演劇部校内公演「愛鈴（アイリン）扉をとざす」が講堂にて上演されました。ストーリーは、何をやっても駄目だった愛莉が、自分の小説を認めてくれる新入部員拓也と触れ合ううちに、自信をとりもどしていくというものです。菊陵祭が中止になってしまい、今年度初めての上演となり、部員たちの気合も十分。客席も盛況となり、たいへん楽しい2日間となりました。



菊川中学・高校 自然科学部発表

8月8日、菊川市民文化会館アエルにて、自然科学部が小学生を対象に、「子ども科学教室」を行いました。スライムや人工イクラなどの各ブースで、社会的距離を保ちながら、活発な実験や体験を行いました。子どもたちは見たこともない実験や、初めての体験に喜び、子どもたちに科学の面白さを伝えることができた、たいへん有意義な1日でした。



菊川高校 球技大会

10月20日、球技大会が行われました。今年度ほとんど唯一と言っていい、学校全体行事であるため、みんなの祈りが通じたのでしょうか。好天に恵まれました。バレー、バスケ、サッカー、卓球、フットサル、キックベースボールと、全員がそれぞれの種目で力いっぱい汗を流しました。



菊川高校 美術・デザイン科 修学旅行

10月12日、岡山県倉敷市の美観地区研修から始まった美術・デザイン科の修学旅行。白壁の蔵屋敷や柳並木の情緒ある街並みを観光しながらスケッチに励みました。また直島・犬島・豊島の島を巡り、風光明媚な景観とともに、空き家や遺構を使用したアート作品、地中美術館・豊島美術館などの美術館で多くの作品に触れる貴重な体験ができました。コロナ禍の中、施設や旅行社の方々にも様々な面で配慮していただきながら、教員生徒全員で気を配り協力しあえた修学旅行でした。



令和2年度 学園誌『より高きを目指して』感想文コンクール

附属中学、高等学校の新入生は、入学時に配布される学園誌「より高きを目指して」を読み、学校法人常葉大学の概要や創立者の理念、歴史について理解を深め、感想文を書きます。応募数1026点の中から優秀な作品が選ばれ表彰されました。



最優秀賞（3名）

（常葉高）大畑 夢來
（橘高）牧野 瑞月
（菊川高）杉山 心思

優秀賞（6名）

（常葉高）稲垣 礼那
住友 菜花
（橘高）高野 由衣
山下 璃子
（菊川高）青木 瑠香
河守 唯全

入選（18名）

（常葉中）池田 茉央
山北百合香
山口 莉央
（常葉高）釜田奈央子
森 和奏
中村千奈津
（橘中）西野阿須真
間宮 浬
天野あろは
（橘高）奥田 真希
望月 風花
中田 陽太
（菊川中）河守 信満
岸田 万穂
大谷 優真
（菊川高）榛葉 天音
住川 碧
大関 日菜

常葉大学教育学部附属橘小学校

橘小　4・5年生　自然の中で、元気に活動した野外活動



4年生は、9月の末に焼津青少年の家に行きました。松林が生い茂る中、班で協力して取り組んだ宝探し。ろうそくの火を大切に扱いながら学年のみんなと踊ったキャンドルセレモニー。2日目は、みんなで声をだして、班で協力しながら力いっぱいカヌーを漕ぎました。ここで培った団結力を今後に生かしていきます。

5年生は9月の初めに井川林間学校へ行きました。1日目はあぷとラインで井川駅に向かい、井川本村散策やナイトハイクで井川の豊かな自然にふれました。2日目はウォークラリーを班員と協力して取り組み、ガイドハイクでは所員さんから様々なお話を聞きました。普段の生活とは違った環境を経験し、井川の自然のすばらしさや多様性を学びました。



橘小　力強く舞い・走り抜けた運動会

10月18日に運動会を開催しました。「歴史にきざめ、自分の笑顔と友笑・優勝 トロフィー」をスローガンに、児童の声が秋の空に響き渡りました。

コロナ禍での実施のため団体競技はとりやめ、各学年の演技と高学年による選抜リレーを行いました。さらに前日の雨で開始が遅れ、個人走もできませんでしたが、どの学年の演技も、一生懸命取り組んできた練習の成果が発揮されました。

また、高学年選抜リレーでは、どの子も一位を目指して精一杯腕を振り、駆け抜けました。

そして運動会を締めくくる「前進　全進」。5、6年生がコロナ禍でも「前に突き進もう・全員で協力して進もう」の思いを縄跳びや演舞にこめ、今年の運動会にふさわしい演技を見せてくれました。



橘小　オーケストラ学習発表会

12月15日に清水文化会館マリナートで、第37回オーケストラ学習発表会を行いました。コロナ禍による臨時休校はオーケストラの授業にも影響がありました。限られた時間の中でこの日のために、子どもたちは一生懸命練習に励んできました。そして、本番ではどの学年も、練習の成果を存分に発揮し、すばらしい演奏を披露することができました。



令和2年 常葉重大ニュース

1. 新型コロナウイルス　感染拡大防止の取り組み
2. 菊川中学・高等学校　新校舎完成　運用開始
3. 常葉美術館
   常葉大学附属常葉ギャラリーとして新設
4. ICT 利活用の推進
   橘中全生徒 iPad 貸与
   各校オンライン授業
   Web 会議、Web 研修の普及　など
5. たちばな幼稚園　開園 50 周年
6. 常葉中学・高等学校 校長に磯邉晋一氏就任
   とこは幼稚園 園長池田美穂氏就任
7. 常葉大学
   学生一人あたり 5 万円の特別修学支援金を給付
8. 運動・文化活動での活躍
   常葉高　体操　芦川うらら
   種目別(平均台) W杯、全日本選手権優勝
   大学サッカー部　天皇杯本大会出場
   菊川高女子　駅伝2年連続7回目の都大路へ
   橘高女子サッカー　2年連続東海V　全国へ
   橘中学女子サッカー　5年連続で全国へ
   橘高サッカー　U-18プリンスL東海参入
   菊川高　美術・デザイン科　福島大地
   愛鳥週間用ポスター原画コンクール総裁賞

幼保連携型認定こども園 常葉大学附属とこは幼稚園・たちばな幼稚園

とこは幼

とこは幼稚園の子ども達は近隣へのお散歩が大好きです。秋の心地よい気候の中、0・1・2・満3歳児クラスの子ども達も秋見つけのお散歩に出掛けました！幼稚園のそばの遊歩道では、川の流れや植えられた花々を見ながらかけっこをしたり、近隣小学校へお邪魔して、落ち葉やドングリ拾いをしたりして楽しみました。散歩中の方や小学生のお兄さんお姉さんに声をかけてもらい交流も楽しんでいました。手には拾った秋の実のお土産をたくさん持って、元気いっぱい歩いているとこはっ子でした！



秋見つけのお散歩に出掛けたよ！



たちばな幼

今年度は新型コロナウイルス拡大予防対策として、12月1日～12月3日の3日間にわたり、学年ごとに開催された生活発表会。この日に向けて、先生やお友達とアイディアを出し合ったり、セリフを考えたり、大道具を作ったり…時には真剣に、時には思い切り楽しみながら作り上げてきました。他クラスのお友達がお客さんとなって見に来てくれ、一緒に歌ったり踊ったり、手拍子をしたりと楽しい雰囲気の中、見てもらう緊張感を持ちながらも、お友達が楽しんでくれている姿に満足感を味わってきました。

生活発表会本番、沢山ドキドキしたけれど、大きな舞台で楽しく表現することができました♪

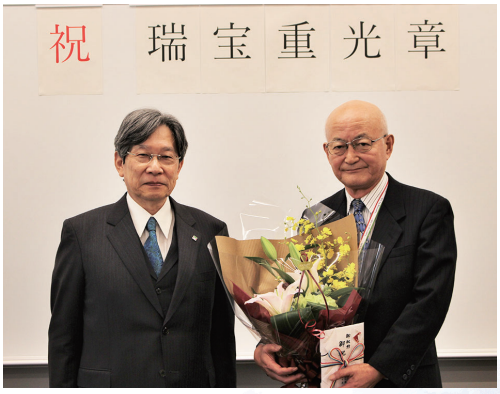


生活発表会



瑞宝重光章を受章 学校法人 常葉大学理事 工藤智規学事顧問

平成26年度から学事顧問として、平成27年度からは理事・評議員として、本法人の運営に携わっていただいている工藤智規学事顧問が、令和2年度の秋の叙勲で瑞宝重光章を受章されました。これまでに文部科学審議官、公立学校共済組合理事長を務められるなど、多大な功績を残されています。栄えあるご受勲を祝し、謹んでお喜び申し上げます。



短期大学教育功労者表彰 常葉大学短期大学部 小田寛人副学長

小田寛人副学長が、この度文部科学省より、短期大学教育功労者として表彰されました。長きにわたり英文学、英語教育の指導にあたり、短期大学部の発展に寄与されている他、文部科学省で教科書調査官も務められました。ご功績に敬意を表し、心よりお喜び申し上げます。



瑞宝小綬章を受章 江間秀明先生



常葉大学短期大学部非常勤講師 江間秀明先生が、教育功労により瑞宝小綬章を受章されました。

江間先生は公立高等学校長、静岡県教育委員会文化課長、また、静岡県吹奏楽連盟事務局長、会長を歴任され多くの功績を残されました。心よりお祝い申し上げます。

とこはインフォメーション

早くも令和４年度に向けての附属小・中学校の説明会が予定されています。会場は各校です。
＊申し込み等、詳細は各校ホームページ等でご確認ください。

● 年中年少児対象学校説明会

橘小	2/20（土）	10:00～12:10	授業参観・校内見学 ※事前申し込み不要

● 学校説明会（小学校5年生以下対象）

常葉中	2/11（木）	9:30～11:30 （9:00～受付）	学校紹介・ジュニア英会話（授業体験）等 ※ホームページより申し込み

● 学校説明会（小学校5年生以下対象）

橘中	3/13（土）	9:30～11:30 （9:00～受付）	学校紹介・生徒によるプレゼン等 ※ホームページより申し込み

● 小学校4・5年生対象説明会

菊川中	2/20（土） 3/6（土）	14:00～16:00	学校紹介・「７つの習慣」授業体験等 ※ホームページより申し込み（両日とも同内容）









常葉大	▶ 一般入試（後期）	出願 2/8～2/22 試験 3/9	常葉大学　静岡草薙キャンパス・浜松キャンパス	詳細は入試・受験サイト「トコナビ」大学入試情報でご確認ください
	▶ 共通テスト利用入試（後期）	出願 2/8～2/22 試験（造形実技のみ）3/9	（造形実技のみ）静岡草薙キャンパス	
	▶ 社会人入試Ⅱ期・帰国生入試Ⅱ期	出願 2/8～2/22 試験 3/9	常葉大学　静岡草薙キャンパス・浜松キャンパス	
短大部	▶ 一般入試（後期）	出願 2/8～2/22 試験 3/9	常葉大学　静岡草薙キャンパス・浜松キャンパス	
	▶ 共通テスト利用入試（後期）	出願 2/8～2/22 試験（音楽実技のみ）3/9	（音楽実技のみ）静岡草薙キャンパス	
	▶ 社会人入試Ⅱ期	出願 2/8～2/22 試験 3/9	常葉大学　静岡草薙キャンパス	
	▶ オープンキャンパス	3/6	常葉大学　静岡草薙キャンパス・静岡瀬名キャンパス	
	▶ 第11回ウィンドオーケストラ定期演奏会 東部公演	2/5（金）18:00開演	長泉町ベルフォーレ	詳細は短期大学部ホームページでご確認ください。
	▶ 第11回ウィンドオーケストラ定期演奏会 静岡公演	2/9（火）18:30開演	静岡音楽館 AOI	
	▶ 専攻別演奏会（声楽・ピアノ・作編曲）	2/12（金）18:30開演	清水文化会館マリナート小ホール	
	▶ 第52回卒業演奏会（音楽科）	2/25（木）18:30開演	静岡音楽館 AOI	
	▶ 第50回終了演奏会（専攻科音楽専攻）	2/26（金）18:30開演	静岡音楽館 AOI	

発行●学校法人常葉大学（代表者／木宮健二）　〒422-8581 静岡市駿河区弥生町６番１号
TEL 054-261-1356　FAX 054-261-5601　URL https://www.tokoha.ac.jp/
常葉だよりは自然保護のため古紙100%再生紙及び大豆油インキを使用しています